浅口市心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例

令和6年12月24日

条例第26号

浅口市心身障害者医療費給付条例(平成18年浅口市条例第121号)の一部を次のように改正する。

題名を次のように改める。

浅口市障害者医療費給付条例

第1条中「心身障害者(以下「障害者」という。)」を「障害者」に改める。

第3条第1項に次の1号を加える。

- (4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行令(昭和25年政令第155号)第6条第3項に定める1級の精神障害者保健福祉手帳及び障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行令(平成18年政令第10号)第1条の2第3号に定める精神通院医療に係る自立支援医療受給者証(以下「自立(精神)受給者証」という。)のいずれも所持する者

第3条第2項第3号中「前項各号に新たに」を「前項第1号から第3号までに掲げる者については、同項第1号から第3号までに」に改め、同項に次の1号を加える。

- (4) 前項第4号に掲げる者については、精神障害者保健福祉手帳を初めて取得したときの年齢が65歳以上である者

第4条第1項中「及び生活療養」を「、生活療養及び精神疾患による入院に係る療養であって規則で定めるもの」に改める。

第5条中「心身障害者医療費受給資格証」を「障害者医療費受給資格証」に改める。

第6条第2項中「交付の日から毎年6月末日まで」を「以下のとおり」に改め、同項ただし書を削り、同項に次の各号を加える。

- (1) 第3条第1項第1号から第3号までに掲げる者については、交付の日から身体障害者手帳の再認定年月及び知的障害の再判定年月の末日又は受給資格証の交付の日以降の6月末日のいずれか早い日までとする。
- (2) 第3条第1項第4号に掲げる者については、交付の日から精神障害者保健福祉手帳の有効期間の末日又は受給資格証の交付の日以降の6月末日のいずれか早い日までとする。

第6条中第4項を第6項とし、第3項の次に次の2項を加える。

- 4 市長は、前項の申請があった場合において、受給資格者につき、この条例により医療費の給付を受ける資格があると認めたときは、受給資格証の更新を行うものとする。
- 5 前2項の規定にかかわらず、市長は、受給資格者につき、この条例により医

療費の給付を受ける資格があると認めるときは、職権により受給資格証を更新することができる。

第10条第2項中「場合における」を「ときの」に改める。

第16条を第17条とし、第15条の次に次の1条を加える。

(入院中の者に係る受給資格の特例)

第16条 第3条第1項第4号及び第7条の規定にかかわらず、第3条第1項第4号に掲げる者が、規則で定める精神疾患による入院中に、同号に掲げる自立(精神)受給者証の有効期間の末日を過ぎた場合の当該者に係る入院中の受給資格の取扱いについては、当該療養期間に限り当該者を受給資格者とみなし、第10条第1項ただし書及び同条第2項の規定によるものとする。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、令和7年4月1日から施行する。

(準備行為)

2 この条例による改正後の浅口市障害者医療費給付条例第5条の規定による受給資格証の交付申請及び第6条第1項の規定による受給資格証の交付並びにこれに関し必要な手続その他の行為は、この条例の施行の日前においても行うことができる。

(浅口市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正)

3 浅口市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例(平成27年浅口市条例第30号)の一部を次のように改正する。

別表第1及び別表第2中「浅口市心身障害者医療費給付条例」を「浅口市障害者医療費給付条例」に改める。